

議会だより

◆ たちあらい

No.151

平成28年7月29日
発行／大刀洗町議会

P2

議会
だより

発行続けて150号

P4

議会
報告会

活かします みなさんの声

P6

6・7月
議会

商品券補助など追加

P8

町政を
問う

一般質問 8名が登壇

P16

町民の
声

道路のすみ分けを



第61号(H6年2月)
表紙がフルカラーに。新築になったドリームセンターでの成人式祝賀会の様子です。



第80号(H10年10月)
記事を二色刷りに。大きな見出しと写真で目を引く構成です。



第101号(H16年3月)
裏表紙に「住民の声」連載開始。以降10年以上続いています。

37年の歩み



1号を発行し、今年の4月で通算150号や住民アンケート、迅速な発行など、便や工夫が見て取れます。語っていただきました。



第147号(H27年7月)
本文もフルカラーに。毎回配色に苦労しています。



第146号(H27年5月)
町村議会・全国議会広報コンクールで10位入賞しました。



第137号(H25年2月)
表紙、レイアウトを一新！現在のスタイルに。

ひらた きじろう
平田 喜次郎さん

元議長、元町長。第52号から67号まで編集委員

分かりやすい紙面を心がけて編集していた。議会終了後ただちに取りかかり、一般質問は編集委員が書いていた。今の議会だよりはすっきりしていて読みやすいし、議会や町長のがんばりがよく分かる。



くぼやま ふみとし
久保山 文利さん

元副議長。第68号から83号まで委員長として編集に携わる

一般質問の記事は質問者が書くようにしていたが、締め切りが守られないので委員が議事録を見ながら書いていた。定例会終了後1ヶ月で出すのに苦労した。

住民の声をたくさん載せる特集を組んでもいいのではないかと。



ひらた てるお
平田 輝男さん

元職員。第66号から85号発行時の議会事務局長

当時はフォトニュースとして町内の行事を掲載していたので、よく写真を撮りに行った。役場職員と議会事務局長の立場にジレンマもあった。

限られた予算の中での議会活動は大変でしょうが頑張ってください。



なかしま つねき
中島 恒樹さん

元議長。副委員長として第52号から67号、委員長として84号から99号を担当

当時は編集委員が記事を書き、事務局に確認してもらっていた。委員長として、発行を終えるとホッとしていた。

議会の独立性を高め、議会が執行部にしっかり意見することも大切なことだと思う。





みやた のぼる
宮田 登さん

元議長。編集委員として第1号から6号まで関わる

当初は一般質問中に編集委員が速記して原稿にまとめていたが、発言と記事に相違があったりして、議事録と照合して書くようになった。

議員は執行部の追認ばかりでなく、反対は反対と意思表明することも大事だと思う。



ひらやま まさゆき
平山 政之さん

元職員。第1号発行時の議会事務局長

当時、議会事務局は局長1人だけだった。議会活動を住民に周知しようとの気運が高まり、議会だよりを発刊した。

一般質問者の名前を載せなかったのは、議員の宣伝にならないようにとの配慮だったと思う。



昭和53年4月の第1号です。議長は古賀徹氏、町長は四ヶ所靖登氏。一般会計の予算は14億円(現在は60億円)。

予算案への質疑応答や賛成・反対の討論などがくわしく紹介されています。

第30号(S61年1月)
決算の概要を図で分かりやすく掲載しています。



第46号(H22年4月)
住民アンケートの結果をうけ、一般質問者の名前と顔写真を掲載するようになりました。



発行つづけて 150号へ

たちあらい議会だよりは、昭和53年4月に第1号となりました。初期の号を読み返すと、図の活用利な機器のなかった時代にもさまざまな努力発行に関わった方々に当時の思いや期待を

**これからも
がんばります**



議会だよりは議員がすべての編集を行っています。これからも読みやすく分かりやすい紙面づくりを心がけます。



第150号(H28年4月)

住民のみなさんとの懇談やインターネット中継など、新しい企画にも取り組んでいます。



しんまち みのり
新町 美法さん

朝倉高校2年。平成22年の128号「町民の声」に登場

議会だよりは時々読んでいます。来年18歳になるので、政治のことも勉強したいです。私たち若者が町をもっと元気にできたらいいなと思っています。

4月22日から27日にかけて、町内4校区の会場で議会報告会を開催し、昨年を上回る121名の方に参加いただきました。

テーブルごとの懇談では、地震・防災への対応や定住促進住宅に関する質問など多くの意見が出されました。

寄せられたご意見を町政に反映させるため、2つの委員会では対応を検討中です。



学校・通学路対策を

- 学校に冷房をつけてほしい。トイレの洋式化も早急に。
- 子どもが減り、学校が統廃合されるのではないかと不安だ。
- 通学路改善の要望を出してもなかなか実現しない。

定住・人口対策は

- 住宅用に新しく土地を買うとのことだが、ニーズ調査はしたのか。
- 土地を購入する際、議会で厳しくチェックしてほしい。
- 子どもが減っている大堰や大刀洗校区に建ててほしいという声もある。



地域の課題をどうする

- 消防団や民生委員のなり手が少なく頭が痛い。
- アパートが増え、配布物をどうするか苦労している。
- 今村天主堂は駐車場やトイレの整備を進めてほしい。

農業への支援は

- もっと収入を増やしたいので6次産業を興してほしい。町からもよい案を。
- 新規の農業者を増やすために、町独自の助成を受けられるよう条件を緩和してほしい。
- 大豆の補助金は2年後に打ち切られるとのことだが継続を。

ご参加ありがとうございました

今後各種団体との懇談などを進めたいと考えていますので、ご意見・ご要望をお寄せください。

菊池	31名
大刀洗	33名
本郷	33名
大堰	24名

第6回
議会報告会
開催しました

しっかり**活**かします みなさんの**声**



※本郷会場では手話通訳者を配置しました。

地震への対応は

- 余震が続いて不安がる人が多く、せめて避難所は開設すべきだった。
- 地域の区長や民生委員への連絡がなかった。福祉と連携した対応が必要では。
- 自主防災組織の具体化を。

福祉の充実を

- 手話で交流する場がほしい。手話通訳派遣申請の書き方が難しい。
- 障がい者や生活弱者に寄り添ってともに考える姿勢がほしい。
- 高齢化が進むので、今のうちに移動販売や巡回バスなどの手立てを。

住民に見える議員活動を

- 議員は選挙の時だけでなく日ごろの活動もがんばってほしい。
- 町の「検討する」という答弁はその後もしっかり追及すること。
- 報告会で出た意見をどのように反映させるかが重要。

9月
結果を報告、提言

6月
委員会で対応を検討

5月
分野別に整理し、
常任委員会に付託

4月
報告会

担当の常任委員会で審議し、行政に提言すべきもの、議会で調査すべきものなどにまとめて議会日よりホームページで結果をお知らせします。

みなさんから
いただいた
声は…

プレミアム商品券補助、 空き家調査などを追加

6月議会は、14日から21日まで8日間の会期で開催し、中学生の入院費助成、プレミアム商品券補助、空き家調査委託費など10議案すべてを可決しました。
7月8日に臨時会を開き、契約1件を可決しました。

補正予算（一般会計）

一般会計の総額を、3373万円増額して60億7885万円に。主な追加は左表のとおり。

6月議会で追加された主なもの

内容	追加額
熊本への災害見舞金	500万円
本郷ふれあいセンターの机を購入	241万円
空き家などの実態調査を委託	589万円
プレミアム商品券発行に補助	420万円
大堰神社下の危険雑木を伐採	130万円
北鶴木地区の排水を整備	250万円
町営大堰住宅駐車場の名義変更訴訟	416万円
ドリームセンターの排煙窓を修繕	166万円

議員

空き家の実態調査の委託先、調査期間、内容は。

課長

プロポーザル方式（※）で選定し調査期間は年度内。今回は外観を目視調査するが、今後は必要に応じて立ち入り調査も考える。

議員

空き家バンクなど、今後の計画は。

課長

県の空き家対策部会に参加しており、どういう活用があるか研究中。所有者の意向も聞き、転売、改築、解体などを分類し活用を図りたい。

※プロポーザル方式とは
価格のみによる決定ではなく、企画や技術提案の審査も含めた競争入札のこと。

菊池小学校の改修工事

1億5346万円で半田建設が落札。北校舎の大規模改修、2階渡り廊下の新設、トイレの洋式化など。7月の臨時議会で可決した。



夏休み期間から工事が始まる

国保税の改正（専決）

- ① 国保税の上限額を引き上げ
- ② 軽減対象世帯を拡大

議員

住民への影響額と対象世帯数は。

課長

16世帯が増税、14世帯が減税となる。全体で206万円の税収増を見込んでいる。

討論

賛成

長野
軽減措置もあるし、財源確保のための引き上げはやむを得ない。

反対

平山
国保の増税は事後承認ではなく議会にかけて議決を得るべき。

マイナンバー制度のセキュリティ強化

国の基準に従い、町システムの強化をはかる。現在のネットワーク環境を構築しているネットワークシステムズ(株)と4870万円で契約した。

積みもりはとったのか。

企画監

他に1社の見積もりを確認している。町が算出した予定価格より提示金額は低く、初期設定も実施した業者であるため随意契約とした。

中学生の入院費を助成

一日500円を超えた差額を助成。自己負担上限は月3500円とし、差額は役場窓口で払い戻される。必要な予算は半年間で50万円程度の見込み。
10月から、小学生医療費助成とともに実施される。

このほかに、物損に関する損害賠償額の決定、消防団の定数の変更、税条例の改正(専決)などを審議、可決しました。

町が出資する団体の経営状況は

議員 約5千万円の事業を入札せず随意契約で行うのは適切か。他社から見

株式会社(葬斎場)

27年度の斎場利用は62件で売上高は5247万円。町に対して1500万円の寄付を行った。
28年度は、ふるさと会(会友)の加入促進などで年間60件の受託、町への寄付1千万円を目標とする。

土地開発公社

27年度の事業収益はゼロ。所有する土地は山隈の大刀洗南工業団地(4785㎡、帳簿価格7322万円)のみ。
早期の売却をめざす。
28年度は定住促進住宅の用地取得と造成(事業費7千万円)を計画している。

社会福祉協議会

27年度の決算額は2億8578万円。うち大堰保育園が7875万円、本郷保育園が1億4199万円を占める。
28年度は地域福祉計画にもとづく事業展開、要援護者見守りネットワーク事業の推進、社協の基盤強化に重点を置き、安心して生活できる大刀洗町をめざす。

議案に対する各議員の賛否 (○…賛成、×…反対)

※議長は採決に加わらない。

6月定例会 / 7月臨時会	安丸眞一郎	黒木 徳勝	森田 勝典	林 威範	平田 利治	松熊武比古	長野 正明	平田 康雄	高橋 直也	平山 賢治	花等 順子	山内 剛
一般会計、国保会計補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
税条例の改正 (専決処分)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
国保税条例の改正 (専決処分)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	-
消防団、子ども医療費、障害者医療費の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
セキュリティ対策機器購入の契約	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-
訴えの提起、損害賠償額の決定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
菊池小北校舎改修工事の契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

18歳選挙権導入に 関する対策は

啓発活動に力を入れる

町長

チラシの全戸配布、広報車による巡回

議員

近年、投票率の低下が指摘されているが、選挙権の行使は国民の意見を代弁する議員を選ぶ重要な行為。若い世代の投票率向上のための町の啓発活動は行われたか。

議員

26年に子どもへの貧困対策に関する法律

問・低所得層の子どもに支援を

町長 3つの事業を実施

に合うように入学用品費の支給はできないか。

回、ポスターの掲示、「広報たちあらい」やホームページで周知している。

課長

18、19歳が約30名。若者に政治への参加意識を持ってもらえるよう啓発活動に力を入れていく。

議員

図書館に隣接するドリリームカフェを使って、学校給食がない土曜、日曜に子ども食堂としての運営はできないか。

教育長

地域でそういう話が生まれれば支援したい。



町政を問う!

一般質問

一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。1人あたりの持ち時間は答弁を含めて60分です。

掲載している内容は、質問者自身が要約し広報委員会が校正したものです。全文は、議会ホームページのほか、議会事務局、各校区センターでもご覧いただけます。





森田 勝典 議員

問. 「子ども110番の家」 の現状は

教育長 啓発がなく自然消滅した可能性が高い



高橋 直也 議員

問.

課長



となりの自治体では運動が継続している

議員 子ども達が交通事故
故や不慮の事故に
巻き込まれなくするにはど
うしたらよいか考えていた
ら、他の自治体で「子ども
110番の家」の幟を見た。
本町の対応を問う。
① 町はどのようなスタン



投票率の向上を（期日前投票所）

議員 昨年8月に台風絡
みの大雨で左岸が大
きく抉られた。県土整備事
務所が迅速に復旧してくれ
たが、工事で川も深くなり
町道が以前より狭く感じら
れ、車両の転落事故が発生

問・ 陣屋川堤防の転落防止策は 町長 ガードレール取り付けは困難

教育長 ① 基本的には警察
から小学校経由で
各家庭へ協力を働きかけて

入で取り組んできたか。②
現在ほとんど消滅している
が、その理由は。③この事
業に積極的に取り組む考え
は。

議員 就学援助制度は、
子どもの入学式に間

町長 県と連携して、家
計相談対策、学習支
援、子ども支援オフィス事
業を行っている。

が施行されたが、町での支
援は。

町長 県の早急な対応に
より、二応危険がない
状況になっている。この道路は

しないか危惧している。町
はこの状況をどのように考
えているか。

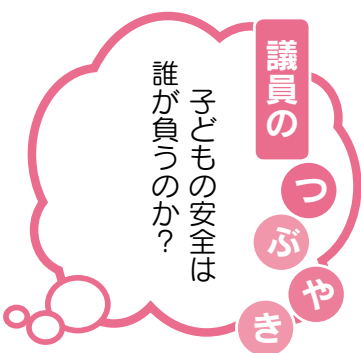
登下校の実施、青パトによ
る巡回、危険個所の把握な
どを行っている。

いるようである。②警察署
は事業を継続しているが協
力件数ゼロの校区もあり、
所管があやふやな状況でも
ある。③本町では子ども110
番は進んでないので、集団

町長 設置についての動
きは無い。

議員 子ども食堂などの
整備に関し、今後の
取り組みと展望は。

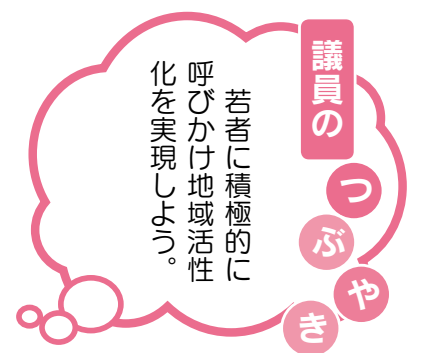
教育長 3月支給は、考慮
のひとつと考える。



議員の
つぶやき
子どもの安全は
誰が負うのか？

課長 護岸設置された箇
所にはガードレールを設置
している。

車が多数通行するために整備
された道路ではないので、ガ
ードレールなどの取り付けは
難しい。



議員の
つぶやき
若者に積極的に
呼びかけ地域活
性化を実現しよう。

信号機・右折レーンの設置を早く

しっかり協議していく

町長 昨年9月に警察に要望した。右折レーンは県土整備事務所と協議する。

議員 高樋西部工業団地の完成にともない大型車の通行が増えており、県道の交差点に信号機や右折レーンの設置などを急ぐべきでは。

問. 区長要望には経過報告を

町長 緊急性の高い事案は対応する

町長 災害など緊急性の高い事案が要望として提出された場合は、内容を考慮して対応したい。

議員 緊急に対応すべき事案だけでも経過を説明すべきでは。

町長 要望ヒアリングを実施した後、現地確認と事業採択を検討している。昨年の要望件数は118か所、採択件数は39か所。

議員 建設課事業に対する区長要望への対応は。昨年度の要望件数と採択件数は。



平田 康雄 議員

議員 過去5年間の下水道利用料の収納率は毎年1%ずつ下がってきて

問. 下水道利用料の滞納が増えているが

町長 徴収を強化する

町長 滞納者に対して年2回の催促書を送付。20万円以上の高額滞納

議員 県道の植栽帯の樹木が見通しを妨げているが。

課長 確認し必要であれば県に伐採要望をする。



工事がストップしている歩道

町長 道路整備事業の区間であるため実施できないことは説明済み。その後は、工事の内容が決まっていないため経過説明ができていない。

議員 中学校横の歩道設置を再開するよう区長から県へ2回も要望書が提出されているが、なぜ経過説明がないのか。

問. 歩道延長の早期着手を

町長 バイパスの建設が優先

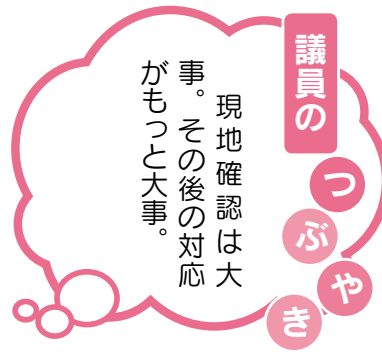
議員 下高橋区の排水路は毎年被害が出ていますが、災害復旧事業で対応できないか。

町長 私も現地を確認したが、今すぐ対応できる補助事業はないため、今後の課題としたい。

課長 行政情報は役場窓口、地域情報は集落支援員と連携しながら移住・定住増加に取り組む。

議員 担当部署との連携は。

供など移住後の支援をしてもらう。



議員のつぶやき
現地確認は大事。その後の対応がもつと大事。

町長 再開の時期は未定。歩道よりもバイパスの建設が優先される。

議員 工事はいつ再開するのか。バイパスの建設が始まれば歩道の工事は優先されるのか。



松熊 武比古 議員

問. 空き家の対策と活用は

町長 有効な方法を考えたい

議員 本町には危険家屋を含めて147軒の空き家がある。28年度は60万円近い予算をかけて調査をするとのことである。
現在、空き家になっていく危険家屋は、環境に悪影響を及ぼしている。空き家が通学路の近くにあれば、子どもにとって非常に危険である。特に10数年以上放置されている物件はマムシ・ムカデ、シロアリが繁殖しやすいので、国の空き家対策法を活用して早急に対処してほしい。また、役場に空き家の相談窓口を設置できないか。



安丸 眞一郎 議員

問.

町長



見通しの悪い交差点

問. 地域案内人の役割は

町長 移住後の支援をしよう

議員 地域と移住者をつなぐ地域案内人の具体的な役割は。

町長 集落支援員を中心にお願している。生活面や文化面などの情報提

ているが対策は。

者を中心に年2回直接訪問するなど徴収の強化をはかっている。



空き家対策は緊急の課題

議員のつぶやき
子どもがマムシにでもかまれたらどうするのだろうか。

議員のつぶやき
下水道の健全運営のためにも滞納ゼロに向けてがんばってもらいたい。

熊本地震を受けての 対策は

防災計画にもとづき対応

- ① 発生時にどのような対策を取ったか。
- ② 余震、降雨など二次災害の防止体制の整備は。
- ③ 住宅の耐震改修費の補助制度は。
- ④ 避難所の耐震基準は

議員

4月の熊本地震について。

- ① 発生時にどのような対策を取ったか。
- ② 被害が少なかったので防災機関と連絡を取り待機した。
- ③ 町内事業者が行う場合は費用の40%相当額で60万円が上限、町外事業者は20%相当額の30万円が上限と

議員

区長や民生委員に電話連絡はしたのか。情報を流すことが大事

- ④ 町内13カ所の指定避難所は耐震基準を満たしている。
- ⑤ 地域防災計画には設定していない。

課長

県に委託して安心な住宅かどうか判定してもらいたいと考えている。

問. 旅費の不正受給防止 の対策は

課長 領収書、復命書で確認



平田 利治 議員

議員

他自治体において「カラ出張」など旅費精算のずさんな実態が報道されているが、本町では不正受給防止のための対策はあるか。宿泊や飛行機の搭乗証明、領収書、復命書、精算請求などは確認しているか。出張の際にマイレージは積算を許可しているか。

課長

出張旅費は実費支給としており、パック料金及び航空運賃は領収書を添付させ、復命書は必ず提出させている。宿泊や搭乗証明は確認していない。マイレージは特に規制していない。



町内のあちこちに空き家が

問. 空き家対策の具体的な運用は

町長 基準に従い指導したい

議員

国家公務員は10数年前から証明書添付などで不正できない環境

を作っている。地方自治体もこれにならない、旅費に関する規定の早急な作成を。

議員

「空き家対策特別措置法」に基づいて、空き家の相続人や持ち主との交渉及び勧告の実績はあるか。

町長

昨年末に特定空き家の判断基準が示されたことを踏まえ、今後には必要に応じて法に基づく指導勧告、命令などを行っていく。

議員

通学路に面して、蔦に覆われ、今にも倒れそうな空き家も存在している。早急に持ち主や相続人に勧告書を出してもらいたい。

そのほかに、貧困対策・職員の退職状況について質問した。

議員のつぶやき

海外出張の多い人はマイルも貯まる。それを私的に使用しないように禁止規定を。



平山 賢治 議員

問. 震災の対応は適切だったか

町長 被害状況を確認し判断

町長

発生が深夜でもあり、避難所は開設し

4月に発生した熊本地震では、大町でも余震が1週間にわたり、高齢者や民生委員の方から避難所の開設の要望が強かった。町の判断はどうか。今回の教訓を受けて今後の対応は。



災害に備え訓練する消防団



黒木 徳勝 議員

問.

町長

町長

①震度3及び4の揺れを観測し、発生後、第一配備体制をとり、被害状況確認のため町内巡視を行った。数件の被害を確

調査したか。
⑤避難所の設置場所の基準を設定してはどうか。

ないほうがよいと判断した。6名の職員を被災地に派遣し現地で活動したので、経験を今後の対応に生かしたい。



水害にも備える必要がある

問. 町の人口対策の柱は

町長 基本計画と総合戦略に基づき

議員

町の人口対策や定住促進を進めるに

あたって、最も根拠となる計画はなにか。
定住向け住宅を建てるのであれば、町内の住宅の現状、地域の特性、ニーズや採算の見通しなど、詳細に検討したうえで必要な地域、戸数を定めるべきでは

ないか。

町長

22年策定の町総合基本計画のほか、27

年度に策定した「よかまち創生プロジェクト」の中に移住促進の主要事業として定住促進住宅整備を位置づけている。

だと思うが。

課長

連絡していない。今後の対策の取り方について区長会と協議したい。

議員

建物応急危険度判定士は、町で登録制を推進することになっているが。

議員

近隣の自治体は避難所や救済物資受け入れを進めていた。人員の確保や福祉部門との連携など、町内での災害対応充実を。

議員のつぶやき

水縄断層帯の地震発生確率ほぼ0%であるが、起きたら「想定外」になるのかなあ？

議員

町営住宅は削減を進め、その跡地に優良住宅建設が行われており、住民からも不安の声が上がっている。住宅困窮者向けの施設も計画的に整備を。

そのほかに、国保税の専決処分について質問した。

議員のつぶやき

どんな課題でもきちんと町内の状況を把握し、長期的な展望を。

教育課題の対応状況を学ぶ

総務文教厚生委員会

さまざまな教育課題への対応状況について、子ども課より説明を受けた。

巡回相談などで明らかになった児童生徒の実態として、多くの子どもたちが生活、学習に困り感があることが分かった。

子ども課では、どの子どもも楽しく学び、「わかる・できる」授業づくりを目指し、人的支援の充実を図り、0歳から15歳までの子どもたちが安心して学べる学校づくりに取り組むことを目標としている。よりよい人間関係を築き、夢や希望を持つことができる子どもの育成に努めている。



すべての子どもにゆきとどいた教育を

◆特別支援教育の充実を

①障がいのある幼児、児童、生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援。一人ひとりの教育的ニーズを把握し、もてる力を高め、生活や学習上の困難を改善、克服できるように適切な支援を行う。推進事業の具体的な運営を行う担当者会を年5回開催し、縦・横の連携を強化する。

②障がいのある子どもが他の子どもと平等に「教育を受ける権利」を享有、行使できるように、町と学校が、その子の状況に応じて個別に学習内容や学習方法、支援体制などについて必要な変更、調整を行う。

以上のように、子どもの状況に応じた支援がなされているが、障がいのある子の卒業後の受け皿がないことが町における課題であり、今後解決に向けて議会でも取り組みなければならぬ。

(委員長 安丸眞一郎)

これからの町村議会を考える

町村議会議長・副議長研修会

5月30・31日、東京の中野サンプラザで開かれた。

山梨学院大学の江藤俊昭教授から、議会のあるべき姿として

○住民に開かれ、住民参加を促進し、住民と歩む

○議員間討議と議決を重視

○監視と政策立案の役割を発揮する議会であれと強調された。

◆神奈川県大磯町議会の活動

平成15年の改選期から議員の男女比が7対7となり、16年から議会活性化の取り組みがはじまる。町民から信頼される議会を目指し

て、議員研修や勉強会を続け、政策提言ができる議会を目指す。
・議会報告会を年2回実施
・各種団体との意見交換会を開催
・エネルギーに関する条例制定
・執行部の追認機関とならないよう町政監視を重視

◆長野県飯綱町議会の活動

平成17年の合併直後に第3セクターの経営が破綻し、議会の議決責任が問われた。

半年間で30数回の学習会を開き、追認機関から脱却し、町長と切磋琢磨して町政発展の「翼を担うよう」になる。学ぶ議会により議会力は向上した。今後は議員力アップが課題。

大刀洗町議会も、より一層住民参加を進め、協働の社会を作るため、議会改革に取り組まなければならない。議員間討議を活発にし、議論を深め、採決に臨むこと。勉強を重ね、議会力、議員力のアップに努め、政策提言できるようにすることが必要と強く感じた。

(副議長 花等順子)



先進的な事例が紹介された

せっかく液晶画面があるので、質問資料を映すなど分かりやすく工夫してほしい。

議員の質問に対して答弁がかみ合っていないことがあるので、しっかり追及を。

一般質問の休日開催は続けてほしい。生の声が聞けて集中できる。

議会だよりは、住民がどれくらい読んでいるか調査して配布方法を検討しては。

傍聴席の声



住民や役職者に対して、もっと傍聴を呼びかけてほしい。

空き家対策や定住促進など、やるのであれば将来を見すえた政策を作ってほしい。

6月議会は29名（氏名記入者）の方に傍聴いただき、21通のアンケート返信がありました。

議事に関するご意見のほか、休日議会の継続や、議会だよりの改善などのご指摘をいただきました。

他議会からの視察を受け入れています

28年度の受け入れ状況

5月17日	熊本県上天草市	議会広報
5月20日	宮崎県川南町	議会改革
5月25日	広島県熊野町	議会広報
5月26日	長崎県川棚町	議会広報
7月22日	大分県九重町	議会広報



川棚町との意見交換

議会改革や、広報活動（議会だより発行）などで、他自治体の議会から視察を受けることが多くなりました。どの議会からも活発な質問が寄せられ、改革への意気込みが感じられます。他議会のすぐれた取り組みも学び、大刀洗町議会でも生かせるよう担当委員会で協議中です。

町民の 声

道路のすみ分けを



西栄田
川野 哲郎さん

大刀洗町に住み、自動車での移動を中心とした生活を送っていますが、年々、道路が整備され、久留米や福岡都市圏へのアクセスは良くなっています。

しかし、道路が広くなると相対的に走る車のスピードも上がっているのではないのでしょうか。とくに通勤時間帯は町外の方も大刀洗町を通過され、台数も多くなっています。交差点や踏切の渋滞を避け、わざわざ狭い道へ迂回する車も多

いようです。

車を運転する者にとっては便利になっても、車に乗らない子どもやお年寄りには歩きにくい、自転車に乗りにくいなど不便なところも増えているのではないのでしょうか。

私も中学生と小学生の父親です。子どもたちに道路の危険を教えようとはするのですが、気をつけても防げない危険もあるのではと感じています。

難しい課題だとは思いますが、幹線道路は車優先でも、集落の周辺などの生活道路や農

道では通過車両を制限する、通学路や住宅地の出入り口は歩道や舗装などを工夫して自動車スピードを出せなくするなどの対策も必要ではないかと思

います。地形のなだらかな大刀洗だからこそ、自転車や歩行者が優先の道と自動車優先の道、町を通過する車と町で生活する車を整理することで、住みやすい町になると思います。道路のすみ分けを推進し、先進的な田園都市を整備していただけならと願っています。

インターネット
配信やっています



ここをクリック!!

パソコンやタブレットスマートフォンからでもご覧いただけます。

facebookページ
更新中です

議会の予定や結果などをお知らせしています。



大刀洗町議会

検索

<http://www.town.tachiarai.fukuoka.jp/gikai/>

9月議会(予定)

9月8日(木) 開会

一般質問 9月17日(土)

お問い合わせ
☎77-4112(議会事務局)

表紙の風景

本郷保育園のプール遊びです。暑い日は楽しさ倍増!



編集後記

ようやく15号の編集が終わった。議会後1ヶ月以内の発行をめざしているがなかなか難しい。

広報委員になって驚いたことがある。一つは、議会だよりを議員だけで編集しており、8回も編集会議を開いていること。2つめは、全国議会広報コンクールで10位に入賞したことである。

「やおいかなん」と思っても黙ってがんばりたいと思う。議会だよりは見やすくなった「バイ」の声を励みにしている。

(平田)

- 広報委員長 平山賢治
- 副委員長 林威範
- 委員 安丸真一郎
- 委員 平田康雄
- 委員 花等順子